

第2期 中津市版 まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

～住みたい、帰りたい、行ってみたい～ 「暮らし満足No.1のまち」中津

- ◆あらゆる主体との連携
- ◆市民や団体等との対話・協働
- ◆定住自立圏など広域的な自治体間連携
- ◆SDGsの視点

【計画期間】2020年度～2024年度(5年間)

【ポイント】「なかつ安心・元気・未来プラン2017(期間:2026年度まで)」の
中期的なアクションプランとして、**人口減少の抑制**、**雇用の確保**、**交流(関係)**
人口の拡大など地方創生に係る施策に重点を置いて取り組む。

安心づくり

～誰もが生き生きと安心して暮らせるまち～

①子どもを産み育てやすい環境づくり

- ・放課後児童対策の充実
- ・子育てと仕事の両立を応援する環境づくり
- ・出会い・結婚の希望実現のための支援

②地域包括ケアシステムの構築と健康づくりの推進

- ・病診連携、医療介護連携の推進
- ・高齢者の孤立をなくす見守りネットワーク
- ・予防事業・健康づくりの推進

③地域コミュニティの維持・活性化

- ・地域の実情に応じた生活機能や拠点機能の確保
- ・地域住民が主体となった活動の支援

④災害に強いまちづくり

- ・国土強靱化地域計画の策定
- ・自主防災組織での活動支援

⑤誰もが活躍できる多様性のある地域づくり

- ・障がい者の社会参加・雇用拡大
- ・外国人居住者との共生

元気づくり

～モノや人が行き交う元気のあるまち～

①地場企業への支援及び起業・創業への支援

- ・情報発信やマッチングなどによる人材確保支援
- ・ワンストップ相談窓口等による起業・創業支援
- ・商店街の活性化支援と城下町周遊促進
- ・多様な働き方の推進

②企業誘致の促進

- ・戦略的で効果的な企業誘致の推進
- ・企業立地環境の整備・充実

③農林水産業の振興

- ・農業の担い手確保と生産性向上
- ・水産業の担い手確保と生産性向上
- ・循環型森林整備の推進
- ・地域産品の6次産業化・高付加価値化

④交流人口・関係人口の拡大

- ・観光資源の魅力向上と情報発信
- ・宿泊・体験型観光の推進
- ・インバウンド誘客の推進

⑤移住・定住促進

- ・移住支援体制の充実と情報発信
- ・若者のUターン・転入の促進

未来づくり

～新しい時代に子どもの未来を開くまち～

①将来地域で活躍できる人材の育成

- ・キャリア教育の推進による職業観の醸成
- ・ふるさと教育の推進による郷土愛の醸成
- ・「新中津市学校」や「なかはく」などを中心とした学びと交流、文化の拠点づくり
- ・慶應義塾との共同研究・連携事業の展開

②環境共生都市なかつの実現

- ・中津市きれいまち隊サポート事業などみんなでつくる「きれいなまち中津」の推進
- ・資源ごみの分別やごみ排出量削減の取組推進
- ・生活排水処理率の向上
- ・循環型森林整備の推進及び経営放棄林の解消

③交通・物流ネットワークなどの都市基盤の整備

- ・中津日田道路の早期開通、東九州自動車道の4車線化など主要な交通網の整備促進
- ・地域の公共交通ネットワークの維持
- ・Society5.0の実現に向けた新しい技術の活用による地域課題解決やサービスの利便性向上
- ・マイナンバーカードの普及促進やオープンデータの充実・強化

◆合計特殊出生率 2024年に**1.89**
◆お達者年齢(※) 2024年に**男性 80歳**
女性 84.5歳

※介護保険の要介護2以上の認定を受けていない方を健康の状態とみなして、大分県が算出している年齢。

◆人口社会動態 2024年に**社会増**を維持
(直近5年間平均)

◆生産年齢人口 2024年に**約4.5万人**

◆企業誘致件数 2024年度まで**5年間累計30件**

◆若年人口回復率(※) **100%以上**を維持
(2025年国勢調査)

※15～24歳の人口減少幅に対する25～34歳の人口増加幅の割合。
国勢調査を基に算出。

中津市の人口ビジョン

2030年 総人口 **約7.9万人** (合計特殊出生率1.95)
2040年 総人口 **約7.6万人** (合計特殊出生率2.07)

➡ **2060年の総人口 約7万人**